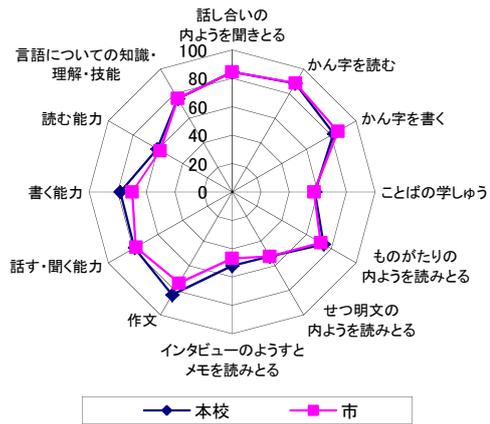


宇都宮市立宝木小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	84.6	84.6
	かん字を読む	88.3	88.6
	かん字を書く	82.0	85.4
	ことばの学しゅう	58.0	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	74.0	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	52.5	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	52.1	46.8
	作文	83.8	74.2
観点別	話す・聞く能力	78.8	77.8
	書く能力	78.3	69.9
	読む能力	60.5	58.2
	言語についての知識・理解・技能	75.8	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均と同等であった。 大事なことを落とさないように聞き取る問題では、発表した意見の理由に合うものを選ぶ問題は市の平均正答率を3ポイント上回っているものの、反対した理由をえらぶ問題では市の平均正答率を3ポイント下回っている。 話題に沿った意見と理由を考えて話す平均正答率は、市の平均より3ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大事なことを正しく判断し、落とさないように聞き取ることについては、国語の授業において繰り返し行って習熟を図っていく。 各教科や総合的な学習の授業において様々な人の話を聞く機会を設け、話を聞きながらメモを取ることに慣れさせる。
かん字	<ul style="list-style-type: none"> 漢字についての平均正答率は、読み書きとも市をやや下回った。 第3学年配当漢字は読み書きともに、市正答率を上回ったが、第2学年の読み書きには忘れていたところがあり、読みでは「麦」、書きでは「汽車」が市正答率を10ポイント下回り、「米」「走る」などが市正答率をやや下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆順や用い方を丁寧に指導し、ドリルや漢字練習帳を活用して繰り返し学習させていく。また、小テストなどを実施することで、定着の度合いを確認していく。第2学年の漢字については、教科書にある単元末の漢字を丁寧に指導し習熟を図る。
ことばの学しゅう	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を1ポイント上回った。 国語辞典の正しい言葉の並び方や、国語辞典から文意に合った言葉を選択する問題において、いずれも市の平均正答率を上回っているが、見出し語を正しく直す問題は50%を下回り苦手がみられる。 ローマ字のつづり理解の平均正答率は市を3ポイント下回った。 漢字の部首についての平均正答率は、市を2ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語辞典を常に身近に置いて引くことに慣れさせ、言葉の並びや見出し語を理解しながら自分で引けるようにする。 ローマ字については一通り学習したが、繰り返し練習する機会を設けて習熟を図る。
ものがたりの内ようを読みとる	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を2ポイント上回った。 登場人物の気持ちを読み取る問題の平均正答率はいずれも市の平均をやや上回った。 場面の様子を読み取る問題では、平均正答率は、市の平均を3ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の内容を読み取る時は場面を分けたり、あらすじを要約したりしてきた。引き続き、場面の観点を示したり、要点を押さえて物語文を読んでいくことを心掛けて指導する。
せつ明文の内ようを読みとる	<ul style="list-style-type: none"> 内容別の平均正答率は、市の平均と同等だった。 文章の流れから聞かれていることを考える問題では市の平均より2ポイント上回っている。 文章を正しく理解し、それにあつた内容を適切に判断する問題では1ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文については、段落ごとの内容を詳しく読み取ったり、段落と段落の繋がりを捉えたりすることを丁寧に指導していく。また、接続語や指示語に着目させて説明文の中でどんな役割を果たしているかを考え、内容の理解を正しくできるようにする。
インタビューのようすとメモを読みとる	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均より上回った。 与えられた情報を正しく読み取り、必要な情報を補う問題では市の平均より7ポイント上回っているものの、50%に満たなかった。 読み取った情報の共通点や相違点を整理する問題では、市の平均を3ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な資料を活用して、文章の大事な情報を正しく読み取ったり、質問に対して敬体で答えるなど適切な言葉で答えられるように指導する。また、社会科や総合的な学習においてインタビューを実際に行う際に、メモの取り方などをその都度丁寧に指導していく。
作文	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均より10ポイント上回っている。 指定された長さで書くことは11ポイント、2段落構成で書くことは20ポイント、経験・想像したことから書くことを決め、文章書くことは5ポイント、自分の考えが明確になるように必要な事柄や理由を書くことは4ポイントと、平均正答率は、いずれの条件においても市を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 作文の書き方は、既習の指導事項を機会があるごとに確認し、条件通りに書けるように指導していく。また、字数などの条件を取り入れたり書く場面を設けたりして文章を書く練習を行う。